

2013 年度 「学会論文賞」 授賞の報告

医療経済学会では、医療経済・医療政策研究の発展を図るため、2009 年に「学会論文賞」が設立されました。

この賞は、医療経済学会雑誌である「医療経済研究」に掲載された研究論文の中から与えられるものであり、賞状のほか副賞として賞金(提供:医療経済研究機構)が贈られます。

2013 年度は、以下の論文が受賞され、2014 年 9 月 6 日開催された医療経済学会 総会にて、医療経済学会 会長 遠藤 久夫 先生より表彰状が授与されました。また、医療経済研究機構 所長 西村 周三より副賞が贈呈されました。

大津 唯 氏 (立教大学経済学部 助教)

「短期被保険者証・被保険者資格証明書交付による受診確率への影響 ー国民健康保険レセプト・データに基づく実証分析ー」

授賞理由：

本研究は、国民健康保険において近年問題となっている短期被保険者証および資格証明書の交付とその受診行動への影響という、社会的要請の大変高い重要なテーマを扱っており、その新規性、政策的重要性の観点から、高く評価できる。また、使用したレセプト・データも大変貴重なものであり、その収集の努力も大いに評価するところである。分析手法等については、まだ工夫の余地があるとの意見もあったが、研究者として、著者らの今後のさらなる成長を期待し、ここに学会論文賞を送るものである。

医療経済学会では、医療経済・医療政策研究の発展を図るべく 2009 年に学会論文賞が設立されました。また 2012 年からは、特に若手研究者の研究奨励を図るべく、新進気鋭の若手による論文を受賞対象として選ぶようにしています。このたびの選考でも、論文の質はもとより、若手研究者の意欲的な取り組みが高く評価されています。次年度以降も若手諸氏の意欲的投稿を期待します。

『医療経済研究』編集委員長 橋本 英樹